

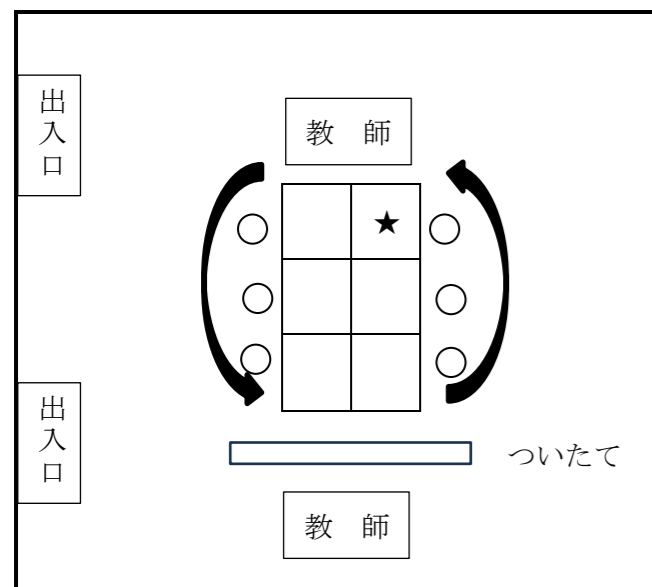
# 授業づくりシート

領域名 自立活動

6 学年

テーマ	言葉を発するコミュニケーション	
事例児の実態	<ul style="list-style-type: none"> <li>・排泄は、一人で立ち便器でできるようになったが、促しが必要。(身体の動き)</li> <li>・日常生活において、多くの口頭指示を理解できる。(コミュニケーション)</li> <li>・教師の発する言葉(単語)の模倣ができる。(環境の把握)</li> </ul>	
事例児の個別目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・言葉で伝えることができる。(コミュニケーション)</li> <li>・自分の発声を聞いて自信をもち、話したいという気持ちが高める。(心理的な安定・人間関係の形成)</li> <li>・舌の使い方を知り、子音の発音を明瞭にする。(身体の動き)</li> <li>・相手に伝わる大きさの声を発することができる。(身体の動き・心理的な安定)</li> </ul>	
活動内容と具体的な手立て		
活動内容	ねらい	具体的な手立て
発音練習	<ul style="list-style-type: none"> <li>・口の開け方と口形を知り、母音の発音を明瞭にする。</li> <li>・舌の使い方を知り、発音できる子音を増やす。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・鏡を見ての口形づくり。</li> <li>・顔の体操と正しい口の開け方。</li> <li>・舌圧子などを使った舌の体操。</li> <li>・集音器を使っでの発音練習。</li> </ul>
話そう	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自発語を増やす。</li> <li>・定型構文の発音と動作ができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日常で使う言葉を使った場面演技。</li> <li>・繰り返しの練習。</li> </ul>
買い物ごっこ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・口頭指示を聞いて行動に移すことができる。</li> <li>・買い物ごっこを楽しむことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・口頭指示の理解のために、手元に視覚的に確認できる手立てをとる。</li> <li>・役割演技や買う物の種類に変化をもたせ、楽しい雰囲気で行う。</li> </ul>

## ○場の配置



## ○教材教具等

- ・「あ」「い」「う」「え」「お」の文字カード
- ・手作り集音器  
(牛乳パックを加工し、発声をパック内から直接耳に届かせる物)



- ・衝立
- ・かご、数字カード、絵カード
- ・実物(鉛筆、果物模型など)

## ○展開

時配	活動内容	教師の支援等
9:50	<p>○始めの挨拶</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・文字カードを見ながら、T1の言葉に続いて挨拶をする。</li> </ul> <p>○舌の体操</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1)「あっかんべー」の要領で舌を出す             <ul style="list-style-type: none"> <li>・5~10秒、出したままにする。</li> </ul> </li> <li>(2)「ホットケーキの舌」             <ul style="list-style-type: none"> <li>・両口角に舌の側面を付け、舌を動かす。</li> <li>・鏡を見ながら自分の舌の形を確認する</li> <li>・ストローを挟んで中央から息を出すことを知る。</li> </ul> </li> </ol> <p>○母音の発声</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1)顔の体操を行う。</li> <li>(2)手作り集音器を耳に当て、自分の声を確かめながら、母音を発音する。             <ul style="list-style-type: none"> <li>・言われた母音の文字カードを選び、その文字を見ながら発音する。</li> </ul> </li> <li>(3)母音が正確に発音できる児童は、その母音が入った言葉と言う。</li> </ol> <p>○買い物ごっこ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・指定された数の物を取ってくる。 (仕切りで区切られた場所に移動して)</li> <li>・買って来た物と頼まれた物が合っているかどうかを確認する。</li> <li>・二人で一緒に買い物に行く。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「これから」「ことばの」「べんきょうを」「はじめます」というように文節に区切ったカードを示しながら挨拶をする。</li> <li>・口形を意識的に児童に見せる。</li> <li>・出し続ける時間は個に応じて決める。指で示しながら時間経過を知らせる。</li> <li>・力を抜くために舌圧子で舌を軽く「トントン」と叩く。卓上の鏡を用意する。</li> <li>・T1、T2が個別にそれぞれの児童と一対一で行う。</li> <li>・必要に応じて鼻息鏡で息の出方を確認する。</li> <li>・自分でできない児童にはT2が後ろから頬を両手で挟んで動きを補助する。</li> <li>・全員が発音できる母音【う・あ】から取り組む。文字カードは声に出しながら提示する。</li> <li>・必要に応じてイラストカード用意し、名称や動作語を言う。敢えて母音のカードを見せながら一緒に言う。</li> <li>・数字カードを使い、物の数を確認する。数字の認識が困難な場合は指数字や口頭での指示も加えて行う。</li> <li>・T2は、児童と一緒に買い物に行き、数や物の名称を横で言いながら、児童にも復唱するように促す。</li> <li>・児童二人が一緒に出掛けた時は、衝立の裏で、児童が物を協力して選ぶ様子を見届け、必要に応じて、助け舟を出す。</li> <li>・T1は、母音カードを見せながらわかりやすい口形で発音し、「終わります。」を引き出す。</li> </ul>
10:10	<p>○終わりの挨拶をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「お」「あ」「い」「あ」「う」(おわります)と敢えて母音だけで発音し、何と言っているか想像する。</li> </ul>	

## ○成果と課題

- 発音や発声に特化して取り組んできたため、数多くの言葉を発する経験を積むことができた。
- 自身の声を集音器で聞くことで、徐々に発音が明瞭化されてきた。
- ビーズ入り紙コップでトレーニングしたことにより、発声量が増えた。
- △教師の発する言葉の模倣はできてきたが、自分の意思を相手に伝えるコミュニケーション力には課題が残った。
- △トレーニング中の声量は増えたが、日常的なコミュニケーションの場では声量は少なかった。